

**8/26 平成26年度  
那覇市観光功労者表彰式**

平成26年度的那覇市観光功労者表彰式が、那覇市ぶんかテンプス館4階にあるテンプスホールにて行われ、今年個人7人と3団体が表彰されました。

受賞者を代表して、安次富順子さんは、「観光客の求めるものは、その土地にしかない物。沖縄には素晴らしい、誇らしい文化が沢山あります。それぞれの分野で行ってきた地道な活動がこのたび那覇市の観光に貢献していると認められ、大変光栄に思います」と挨拶しました。



【受賞者一覧】※敬称略 <個人>安次富 順子(沖縄調理師専門学校 校長) 池野 幸雄(小橋川製作所・仁王窯陶工) 上江洲 仁吉(那覇大綱挽保存会) 小橋川 共春(那覇大綱挽保存会) 渡名喜 一昌(首里城東自治会) 永山 昇子(沖縄バス(株)観光部観光課) 松本 嘉代子(琉球伝統料理研究家) <団体>沖縄コカ・コーラボトリング株式会社 有限会社オフィスりょう次 首里そば



**8/29 新たに3団体 計92団体に  
〜道路ボランティア協定書調印式〜**

「道路ボランティア協定書調印式」が行われ、新たに3団体が市と協力して道路の美化清掃活動に参加いただけることになりました。今回、協定を交わした団体は、「松川通り会」「田原ニコニコふくぎ会」「株式会社沖縄特電」の3団体です。翁長市長は、「道路ボランティアは“協働によるまちづくり”を目指す取り組みの中心となるもの。人と人が支え合い助け合える心豊かなまちを目指しましょう」と述べ、各団体の日頃の活動に感謝しました。



**8/30 人が人を支えあうことが地域力  
〜協働のまちづくり実践講座と  
シンポジウム〜**

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県大槌町。その大槌町に通い情報支援活動を行う、沖縄国際大学・沖縄大学特別研究員の稲垣暁さんを講師に招き、仮設住宅での社会的孤立などを防ぐことを考えるシンポジウムが開催されました。稲垣さんはNTTと協力し、緊急通報ベルを障がい者や高齢者に配り、常に連絡がとれる体制づくりや沖縄の学生たちと交流する機会を作るなど、人が人を支えあう大切さを伝える貴重な講演となりました。



**8/31 安心して暮らせるまちをめざして  
〜認知症サポーター養成講座〜**

協働によるまちづくり推進協議会・健康福祉専門部会では、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。この講座は、ひとりでも多くの方が認知症を理解し、認知症の方や家族が安心して暮らせるまちづくりを目指すものです。今回は、小禄・田原・東雲の自治会や新聞販売店の協力によって広報を行い、小禄地区の民生委員、福祉施設関係者など多くの方が役割を担い、予定を上回る78名が受講しました。古波蔵から駆け付けた野原朝枝さんは、「知識を持つことの大切さについて勉強になりました」と笑顔でこたえてくれました。



**9/3 ダンスコンクール金賞受賞!  
〜古蔵小ダンスチーム  
Do Well〜**

「第2回全日本小中学生ダンスコンクール」に出場し、見事金賞を受賞したダンスチーム「Do Well」のみなさんが、市役所を訪れ、クールなヒップホップダンスを披露してくれました。メンバーは、古蔵小5年生の仲松優花さん、玉城愛華さん、宮城文寧さん、同小4年生の与儀妃奈乃さん、島袋愛唯さんの5人。チームの講師を務めた赤嶺圭一郎さんは、「チームを結成して5か月しか経っていませんが、きびしく教え、それについてきてくれたのが金賞という結果につながったと思います」とあいさつしました。「練習は大変だったのでは？」との渡慶次教育長からの質問に、チームの一人は「練習はきついですけど、楽しいという思いが強いんです。ダンサーを目指してこれからもがんばりたいです」と答えました。



**9/5 「(仮称)津波避難ビル  
建設工事」の安全祈願祭**

市では、低海拔地域である若狭・松山地域に大津波襲来時に備え、若松市営住宅跡地に約2,000名の方が避難可能な「(仮称)津波避難ビル」を建設するため、この度、安全祈願祭が行われました。ビルは、地上4階建てで、3階部分以上を避難場所とします。4階には備蓄倉庫を設け、1階に入居予定のイオン琉球株式会社の協力を得ながら、2,000名の非常食2日分を備蓄。翁長市長は、「このビルの完成で、本市の防災力向上に繋がるものと確信しております。また、地域交流拠点施設として活用されることで、地域力が育まれるものと期待しております」とあいさつしました。津波避難ビルは来年8月頃完成予定です。



**9/6 「救急・防災フェア」開催!**

救急業務に対する正しい理解を深めようと「救急・防災フェア」が開催されました。一日救急隊長を務めた、日本トランスオーシャン航空客室乗務員の島さなえさんは、「市民の22人に1人が救急隊のお世話になっているのが現状です。隊員の働きに敬意を表し、自らも応急手当普及員として社内外へ広めたい」と抱負を述べました。イベントでは、応急手当やAEDの指導、消防車両の展示、各種体験などが行われたほか、ヒーローショー「レスキューナーファ」や「銘銘シャイニングキッズ」によるバトントワリングが観客の目を楽しませ、会場は多くの家族連れでにぎわいました。

**9/13 島々ぬくとうば 語やびら大会  
〜琉球諸語ぬ弁論大会やいびーん!**

沖縄の貴重な伝統芸能を支える源である「うちなーぐち」の普及・継承発展を図る目的で「島々ぬくとうば 語やびら大会」が、パレット市民劇場で開催されました。大会では、沖縄本島だけでなく宮古島や石垣島、奄美大島に遠くは米ハワイ出身の方など10組が、それぞれの地域の「しまくとぅば」で意見を発表しました。ハワイ生まれ(沖縄4世)で現在、琉球大学で日本語と島言葉、沖縄文化の勉強をしている留学生のフー・コーリンさんも流ちょうな「しまくとぅば」で意見を述べ会場を沸かせました。

